

## トアール、トアール不思議な縁

「1月の太原は極寒だぞ！」と脅かされていたのですが、それほどでもありません。1月中、日中は必ず0度以上にはなるし、5、6度まで上がることもあります。1月は日中の最高気温が氷点下という日はなかった気がします。というより、12月中旬に現地の人も驚くような恐ろしい寒波が襲来し（日中の最高気温が、 $-10^{\circ}\text{C}$ 以下の日もあり）、「こりゃあ、1月はどうすんじゃい！」という感じだったので拍子抜けです。ただ人間とは不思議なもので、こういった寒さにも慣れてしまうものです。こういった寒さを経験すると、日中の気温が0度に達すると、「今日は温かいじゃん！」と日本では考えられない感覚に陥ります。2月はどうなることやら、わかりませんが。

1月1日、月曜日。日本と違い新年を祝う雰囲気は全くなく、とても静かです。年末のカウントダウンイベントに繰り出す若い留学生が多かったようですが、私に声は掛りません。1月は10日、11日の2日間、期末試験があるのみで、あとは全休です（2月18日まで冬休み）。山西大学等への編入を目論む多くの若い留学生は、良い成績が必須！とばかりに死に物狂いで勉強しているようです。大晦日は、ちよいと年末の雰囲気を味わおうと街をブラブラしていたところ、大学から徒歩10分のところにピザハットがあることを発見（これまで全く気が付かなかった）、元日に行ってみることにしました。元日、朝9時過ぎにモーニングを求めて出陣、広い店内には客がわずか一組。注文から支払いまで全てがスマホなので、店頭で操作に戸惑う私にお助け舟を出してくれたのがBさんで、彼女の隣の一番陽当たりのいい席へ案内してくれました。ネイティブとの会話のチャ〜ンス！！と内心ニヤリ！丁寧に礼を言い、（何度も練習を積んだ）自己紹介。自分は日本人、山西大学の留学生で中国へ来て4カ月、この店は初めて来店したこと等を話すと、彼女も身の上話を始めました。地元の間で家はここから徒歩5分、近所に住む年老いた両親と毎日平日の午前中、ここで過ごすとのこと。旦那は北京へ単身赴任、高校生の一人息子はカナダへ留学中ということで、毎日午後はヒマを持って余しているという（当然ながら日本語は全くダメ）。身なりや持ち物からお金に困っている様子は全くなさそうで、「マダム」という言葉がぴったり合う。店員との楽しそうな会話や、毎日年老いた両親の面倒を見ていること、出会いが偶然以外の何物でもないことなどから、このマダムに危険な香りは全く感じませんでした。初対面の人間が、少し距離を置いた方がいい、と危険を感じる人物か、あるいは安心して懐に飛び込んでいける人物か、というのは人間、本能的にわかります。マダムは完全に後者、この日は1時間近く楽しくおしゃべりできまし

た（ネイティブとの1時間の会話は、図書館での5時間の独学に勝る、と個人的には思っています）。2024年、幸先いいスタートです。

「試験が終わったら、遊びに行きましょう！私の車は4人乗りだから、友達ふたり連れてらっしゃい！午後から日帰りができる場所なら、どこでもOKよ！太原のことなら私に任せて！」と声をかけてくれます。私も知っていることも知らない振りして、困ったように相談を持ち掛け（自己流で編み出した、外国で現地の友人を獲得するトアールひとつの方法）、マダムと交流を続けるつもりです（太原市内の名所と言われるような場所は大体、訪問したのですが、「エッ？ 知らないっ！ 知らないっ！ 行ってみた〜あい♥」と大嘘つき野郎を演じるつもりです）！



素敵なおマダムと本誌初登場の筆者（ちょっと視線が定まってない？）

### ★トアール日の食事

- ①朝（学外） ピザハットのモーニング、13元。近所にMacとKFCがあり、飽きないよう順番に利用。
- ②昼 なし。食べたいものがない。ローソンのおにぎり（焼きサケハラミ）が食べたい。
- ③夜（学外） 市場のオヤジの麺。食べ始めてもう3か月以上、不思議とこの麺は飽きない。1月中旬、私は一週間、北京へ行ったのですが、太原に戻って真っ先に食べたかったのがこの麺でした。

この日の食事代合計 19元（1元≒20円）

①



③



トータル付録（12月、1月、2月）

mon	tue	wen	thu	fri	sat	sun
				12/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1/1	2	3	4	5	6	7
8	8	10 期末試験	11 期末試験	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	2/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10 春節	11 春節
12 春節	13 春節	14 春節	15 春節	16 春節	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	3/1			

通常授業
  期末試験
  土日
 （無色）休み

この時期、期末試験が終わると、大学は一気に人が減り、ゴーストタウン状態です。中国の大学生はみんな、学内での寮生活を義務付けられているため、冬休みには帰省し、春節は家族と過ごすのが通例だそうです（1年生は6人部屋だそうです。院生は2人部屋。）。留学生も冬休み。お国柄や人それぞれ事情があるので、母国へ帰る人、中国に残って勉強を続ける人、旅行三昧の生活を楽しむ人など十人十色です。実際には半数近くの留学生は母国へ帰っていくようで、寮もガクンと人が減り、妙に寂しいです。仕事を1年間休職して太原に来ている私は、「とにかくこの1年間だけは自分のすべてを中国語に賭けてみよう。」と決心していたので、ここでの生活を継続することにしました（休職を認めてくれた我が社の社長には大感謝です）。でも、日本食が腹いっぱい食べたいし（特に魚。ここは内陸ゆえ、魚がほとんどない）、風呂に入って、ゆっくり湯船にも浸かりたい！という切実な思いもありました。あと半年、我慢でアザラシ。

トアール一日。1月27日土曜日。天候晴れ。最低気温-9℃、最高気温0℃（とても暖かい！）予定は何もナッシング。同室の日本人は帰国しているために私ひとり。

6:30 起床。年寄りの習性でこの時間には起きてしまう。夜更かししようにも、テレビはない、ゲームもない、PC操作は不得手、遊ぶところも遊び仲間もないという悲惨な状況（しかし、考えようによっては中国語を習得するにあたって、これ以上の好環境はないのではないか）。

7:00 朝食、散歩、ラジオ体操（真冬も継続中）。

9:00 近所の市立図書館へ出発（片道徒歩50分、いい運動です）。大学の図書館も冬休み中は閉館しているため（大学の食堂は5つあるうちの1つだけ営業中、とても助かっています）。

10:00~13:00 勉強（ヒマそうな中国人を見つけて、おしゃべりするチャンスを常に覗う）

14:00 帰寮（帰りはバスで帰ることも。1元。所要時間8分）。昼ご飯は最近食べないことが多い。

15:00~17:00 買い物、散歩、話し相手になってくれそうな中国人の物色等で時間つぶし。

17:00 夕食。幸いにもこの日は、留学生仲間からメールが入り、計4人で食事。ただし、こういうことは滅多にない。

19:00 帰寮、シャワー、洗濯など

20:00~22:00 勉強

22:00 就寝